

JAPAN P&I NEWS

No. 714-15/02/02

中国海域の航行警報 No. 29

2014年12月26日付 Japan P&I News (No. 710)にて最近の中国海域航行警報をご案内いたしました。中国、上海の弁護士事務所 Sloma & Co. より追加情報を入手しましたので、ご参考に供し、当該海域を航行する各船舶の安全航行と事故防止を祈念いたします。

以上

日本船主責任相互保険組合

ロスプリベンション推進部

Tel: +81 3 3662 7229

Fax: +81 3 3662 7107

E-mail: lossprevention-dpt@piclub.or.jp

Website: <https://www.piclub.or.jp>

中国海域の航行警報及び航路情報 (No.29)

(試訳)

1. Donghai Sea エリア - 国際海底光ファイバーケーブルの緊急修理実施

HHH (2015) No.28

MSA China 2015 年 1 月 21 日

I. 作業期間：2015 年 1 月 24 日～2015 年 2 月 24 日

II. 作業区域：Donghai Sea エリアの以下 6 地点を結んだ海域

A: 30°49.8'N / 122°58.4'E;

B: 30°52.5'N / 122°59.1'E;

C: 30°50.1'N / 123°07.6'E;

D: 30°44.6'N / 123°15.4'E;

E: 30°42.4'N / 123°13.7'E;

F: 30°47.6'N / 123°06.3'E.

III. 作業内容：海底ケーブル敷設船“LODBROG”(IMO ナンバー:8306591、Call サイン:FNPW、フランス国籍)(LOA: 143.4m、型幅: 23.3m)により、作業区域にある C2C 海底光ファイバーケーブルの 3B セクションの緊急修理が行われる。作業は、まず問題箇所を検知し、ケーブルを引き揚げ、問題の光ファイバーケーブルを切断、ケーブルを接合させ、海底に下ろし、再び埋める手順で行われる。

IV. 注意事項：

1. 作業船は規則に従って灯火・形象物を目立つ場所に掲揚し、AIS を搭載している。
2. 作業船は見張りを強化、VHF16 を聴取し、早期に通知を行うこと。
3. 作業船より 1 海里以内の海域は注意して航行すること。
4. 風力がビューフォースケール 7 を上回る場合、または視程が 1 海里を下回る場合、作業は中止される。

<http://www.msa.gov.cn/Notice/Notice/bfa58467-3e88-4367-932c-c7351be0a822>

2. Daishan Island 及び Badaozui Island 間 - 110KV の海底ケーブル敷設作業

ZHH (2015) No. 2

MSA China 2015 年 1 月 7 日

I. 作業期間：2015 年 1 月 10 日～2015 年 3 月 31 日の昼夜

II. 作業区域：Daishan Island の北側から Badaozui Island までの、以下の地点を結んだ両側 500m の海域:

(1): 30°19'44"N / 122°11'37"E;

(2): 30°20'09"N / 122°11'36"E;

(3): 30°22'33"N / 122°12'44"E;

(4): 30°24'10"N / 122°12'42"E;

(5): 30°24'13"N / 122°12'45"E;

(6): 30°24'27"N / 122°12'57"E;

(7): 30°24'37"N / 122°13'03"E;

(8): 30°33'28"N / 122°09'58"E;

(9): 30°35'11"N / 122°10'56"E;

(10): 30°35'20"N / 122°10'56"E;

(11): 30°36'55"N / 122°08'55"E;

(12): 30°36'55"N / 122°08'29"E.

III. 作業船及び作業内容：

作業船“Jian Lan 1”により、上記海域にてケーブルの敷設作業が行われる。“Tong Heng Tuo 1”、“Long Tao 1”及び Sheng Fa 168 “は作業の補助にあたる。

IV.注意事項

1. 作業船は作業期間中 Regulation on Signal Exhibition in Coastal Port の規則に従って信号を掲揚し、VHF 16 及び VHF13 を聴取している。
2. 作業期間中、上記の海域では航行規制が敷かれる。付近航行船舶は見張りを強化し、VHF16 によりコンタクトをとり、作業船から 300m 以上離れて低速で航行すること。
3. 作業区域には警戒船が配備される (VHF16 でコンタクトをとる)。付近航行船舶は警戒船の指示に従うこと。

<http://www.msa.gov.cn/Notice/Notice/14c07543-2402-4bcf-8902-653ed75a41d2>

3. No.1 Panyu Platform 及び水中設備の使用開始について

YHT (2015) No.1

MSA China 2015 年 1 月 6 日

“Panyu 34-1/35-2/35-1 ガス田開発プロジェクト”が完成し、検査に合格したため、トライアルとしてガス田の使用が開始されている。Platform 及び水中設備の位置は以下のとおり。

I. Panyu 34-1(PY34-1) の Central Platform

(1) 位置 : 20°05'28.44"N / 114°38'02.09"E。Platform は、海底ケーブル及び配管を通じて PY35-1 のガス田 A1H、A2、A3 及び PY35-2 のガス田 A1H、Well A2H、Well A3H、Well A4H に繋がっている。

(2) 信号灯

日中 : 白色の航海灯が目立つ場所 4 箇所設置されており、周りが暗くなると自動で点灯する。

夜間 : Platform の四方に設置された白色のフラッシュライト(Morse(U)15 秒)が同時に点滅する。海面からの高さは 25m で、レンジは 10 海里、そして両サイドにはレンジ 2 海里的霧笛、信号灯(Morse(U)30 秒)が設置されている。

II. Panyu 35-1(PY35-1)の水中設備の位置

A: PY35-1 ガス田 A1H: 20°06'50.60"N / 114°46'43.68"E;

B: PY35-1 ガス田 A2: 20°07'08.03"N / 114°48'57.94"E;

C: PY35-1 ガス田 A3: 20°07'07.25"N / 114°48'57.38"E.

上記のガス田は海底ケーブル及び配管を通じて隣接する水中設備に繋がっている。

III. Panyu 35-2 (PY35-2)の水中設備の位置

A: Well PY35-2 A1H: 19°59'52.92"N / 114°41'40.87"E;

B: Well PY35-2 A2H: 20°01'34.81"N / 114°48'39.51"E;

C: Well PY35-2 A3H: 19°58'10.52"N / 114°44'41.01"E;

D: Well PY35-2 A4H: 19°58'10.10"N / 114°44'40.75"E.

上記のガス田は海底ケーブル及び配管を通じて隣接する水中設備に繋がっている。

IV. その他

(1) Panyu Platform 及び水中設備の安全な使用のため、以下の 4 地点を結ぶ海域は安全作業区域とされている。

A: 19°53'39.58"N / 114°43'38.23"E;

B: 20°00'17.88"N / 114°51'28.86"E;

C: 20°10'48.35"N / 114°52'01.77"E;

D: 20°07'32.43"N / 114°30'50.95"E.

(2) 付近航行船舶は、プラットフォームとの衝突を避けること。安全作業区域内での錨泊、曳航、漁業

行為は禁止されている。

<http://www.gdmsa.gov.cn/gd/ShowArticle.asp?ArticleID=26305>

4. Dalian LNG プロジェクトの専用錨地

MSA Liaoning 2014 年 12 月 8 日

Dalian LNG プロジェクトにおける専用錨地は 2014 年 12 月 15 日に使用開始された。錨地の詳細は以下のとおり。

I. 該当海域

Dalian LNG プロジェクトの専用錨地は 38°52'07"N / 121°51'33.6"E を中心とした半径 670m の海域。

II. 底質及び水深

Dalian LNG プロジェクトの専用錨地の底質は土砂、水深は 36.8m～43.5m と、北から南にかけて深くなる。

Liaoning MSA of P.R.C.

2014 年 12 月 8 日

<http://www.lnmsa.gov.cn/Detail.aspx?id=530830>

免責事項

以上の航行警報は MSA China または MSA 地方局の公式ウェブサイトに掲載された情報の一部となります。これらの情報や英語訳の真実性について Sloma は責任を負いません。以上の航行警報に従った結果損害が発生しても、Sloma は責任を負いません。

Junmao Jiang

Sloma & Co.

2015 年 1 月 23 日